

痛風外来



突然、働き盛りの男性を襲う激しい関節痛。

初期対応を誤ると炎症が2〜3カ月にわたり続き、仕事や日常生活に大きな支障をきたすことがあります。治療を受けているにもかかわらず、発作を繰り返していませんか？

痛風発作の背景にある高尿酸血症が持続すると、尿路結石や痛風腎などの腎機能障害に加え、近年では高血圧や心血管イベントなど、血管障害のリスクとなることも指摘されています。

高尿酸血症・痛風の治療には、日本痛風・尿酸核酸学会の「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン」がありますが、いまだ一般の先生方にまで普及していないのが現状です。その場しのぎの発作治療ではなく、適切な尿酸管理により「発作を起こさない状態」を目指すことが可能であり、安全に尿酸値を下げていく治療も確立されています。

痛風発作を頻繁に繰り返す方、発作が重積する方、尿酸値のコントロールが難しい方、腎・心血管リスクが気になる方は、ぜひご紹介ください。

医師紹介

益田 郁子（ますだ・いくこ）

リウマチ科 部長

■所属学会・資格など

- ・日本痛風・尿酸核酸学会（認定痛風医・評議員・理事）
- ・日本リウマチ学会（専門医・指導医・評議員）
- ・日本整形外科学会（専門医・認定運動器リハビリテーション医・認定スポーツ医）
- ・日本旅行医学会（認定医）
- ・日本温泉気候物理医学会（温泉療法医）
- ・日本リハビリテーション学会（認定臨床医）
- ・日本軟骨代謝学会
- ・臨床リウマチ学会
- ・日本骨粗鬆症学会
- ・American College of Rheumatology, Orthopaedic Research Society など

その他：公益財団法人 痛風・尿酸財団理事